



地域の安心安全な交通社会の
実現を目指す

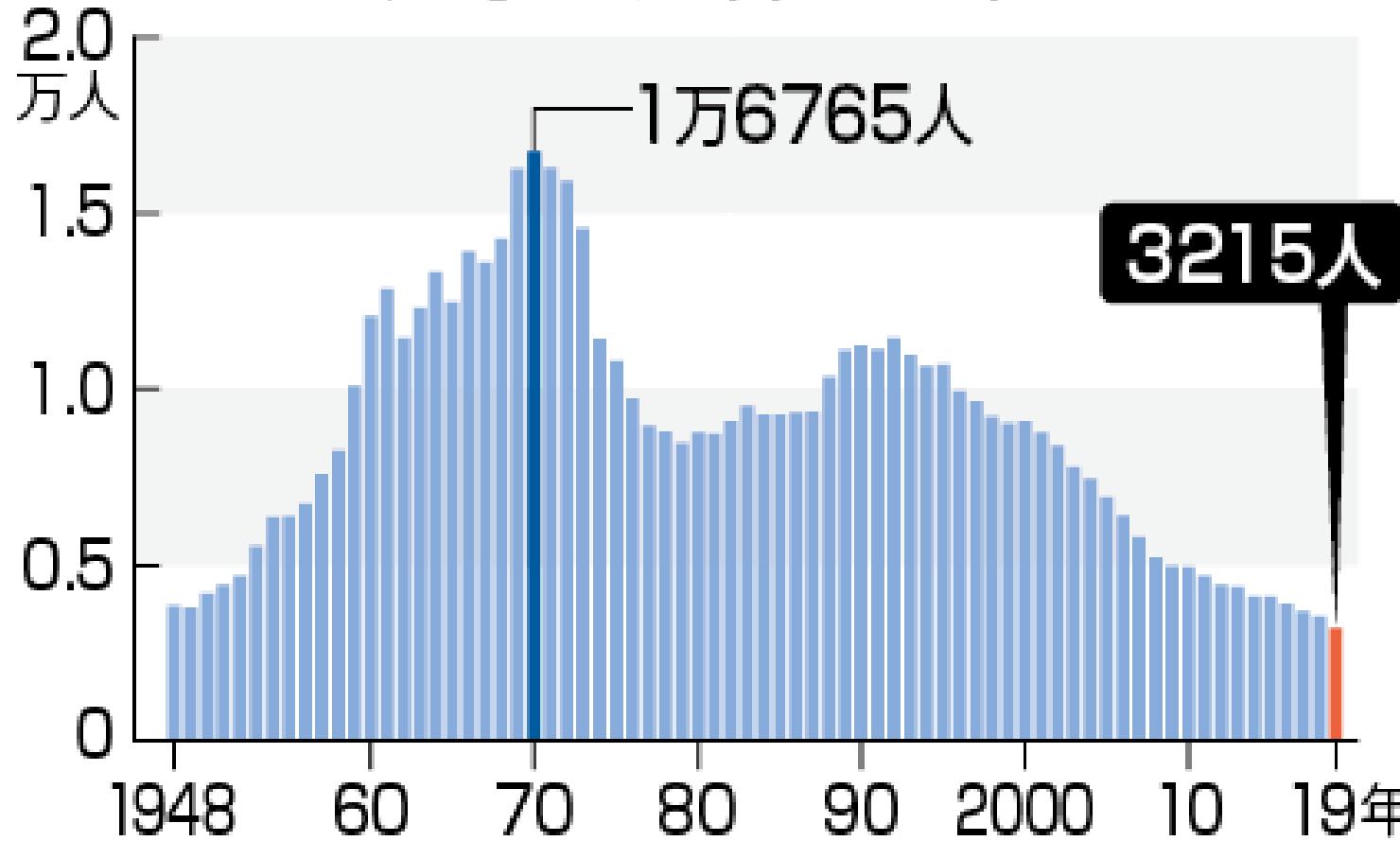
角田自動車学校 企業安全運転講習

株式会社角田自動車学校



交通事故死者数

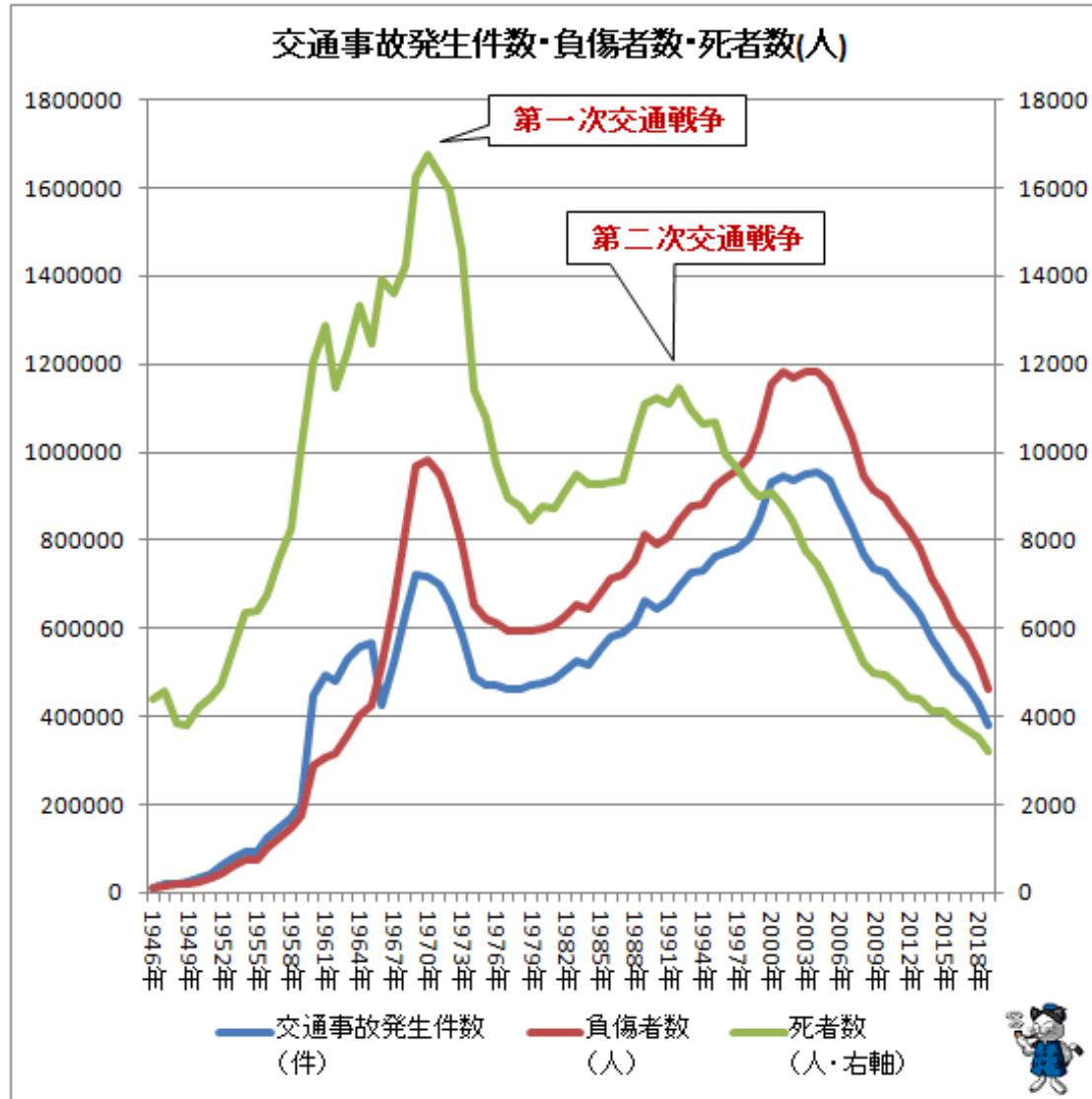
交通事故死者数の推移



日本の経済状況に影響
されていましたが、近年
は減少が続いています。
昨年は統計を取り始めて
以来最少となりました。



交通事故状況



交通事故死者数は過去最少でしたが、事故件数、負傷者数に関しては膨大な数に変わりはないです。

<2019年>

発生件数 381,002 件
負傷者数 460,715 件



「重度後遺障害」年間2千数百人



交通事故による損失

交通事故の高額判決例（人身事故）

認定総損害額	裁判所	判決日	事故日	被害者	被害状態
5億2,853万円	横浜地裁	2011.11.1	2009.12.27	男41歳 眼科開業医	死亡
4億5,381万円	札幌地裁	2016.3.30	2009.1.7	男30歳 公務員	後遺障害
4億5,251万円	横浜地裁	2017.7.18	2012.11.1	男50歳 コンサルタント	〃
4億3,961万円	鹿児島地裁	2016.12.6	2010.11.9	女58歳 専門学校教諭	〃



交通事故による損失

交通事故の高額判決例（物損事故）

認定総損害額	裁判所	判決日	事故日	被害物件
2億6,135万円	神戸地裁	1994.7.19	1985.5.29	積荷（呉服・洋服・毛皮）
1億3,580万円	東京地裁	1996.7.17	1991.2.23	店舗（パチンコ店）
1億2,036万円	福岡地裁	1980.7.18	1975.3.1	電車・線路・家屋
1億1,798万円	大阪地裁	2011.12.7	2007.4.19	トレーラー

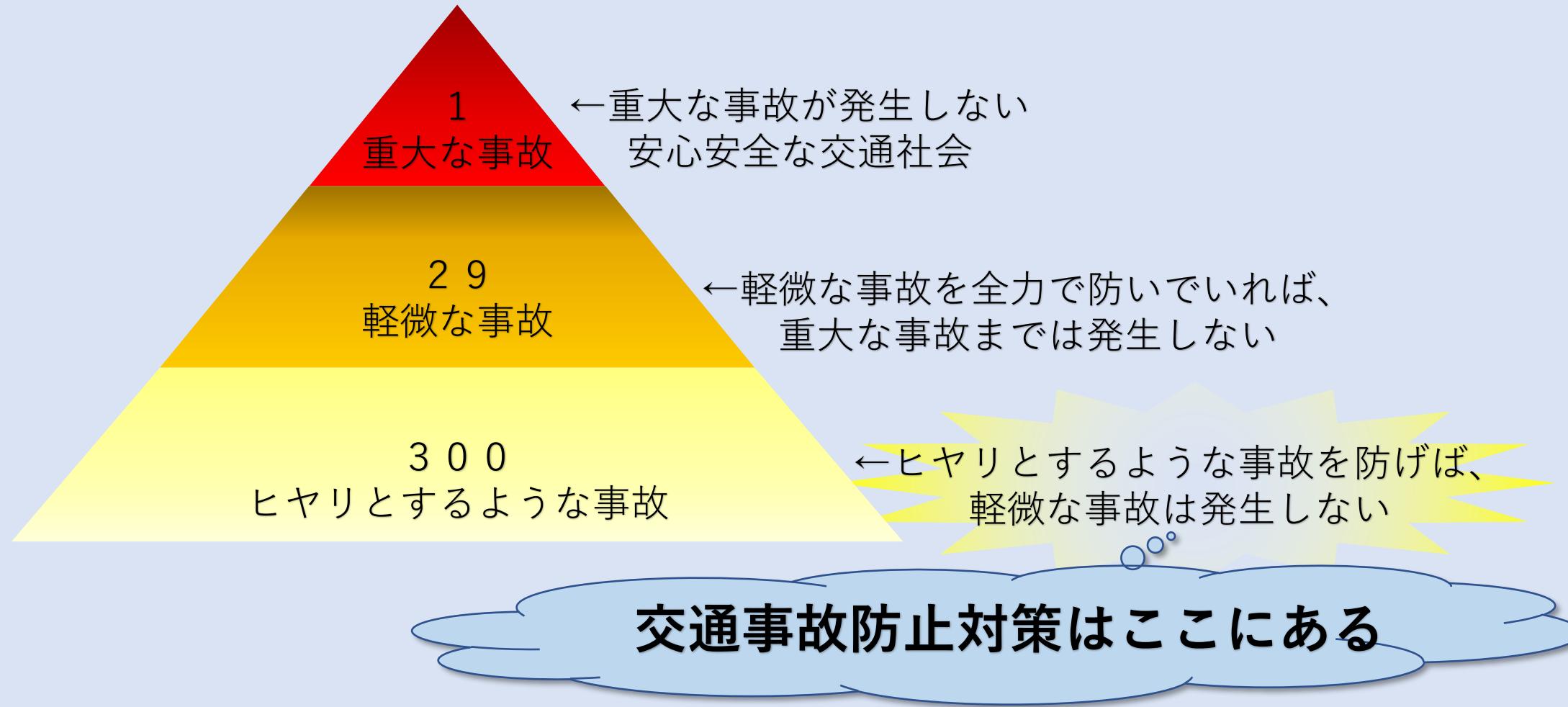
交通事故死傷者などに対する損害賠償額が高額化している今、社員ドライバーが交通事故を起こした場合、企業の社会的信用の失墜、車両修理費の増加、社有車自動車保険料のアップや医療関係費の増加など大きな負担となり、企業として大きなイメージダウンとなります。

社員の継続的な運転チェックは企業のリスクマネジメントに欠かせません。



ハインリッヒの法則

ハインリッヒの法則





空白の50年と求められるドライバー像

運転免許取得年齢……18歳

(更新時講習はあるものの) 空白の50年

高齢者講習受講年齢…70歳



普段の運転では気付かない自分
安全マインドの再確認が必要
ハンドルを握る責任感の向上

求められるドライバー像は
ここにある！



角田自動車学校の企業安全運転講習

角田自動車学校は、次のような趣旨のもと安全運転のノウハウを企業の皆様に広めるために講習を通してサポートさせて頂きます。

- 1 「運転者自身の運転マナー度（態度）や性格を知り、自分自身を見直す」
- 2 「安全運転の更なる意識向上を目指す」
- 3 「安全運転管理者の管理のもと、企業ドライバーとしての質の向上を図る」



角田自動車学校の企業安全運転講習

3時間コース

1 時限目	<ul style="list-style-type: none">○オリエンテーション○OD式安全性テスト
2 時限目	<ul style="list-style-type: none">○運転技能<ul style="list-style-type: none">・教習車両による路上運転・路上運転チェックシートによる採点・ドライブレコーダーによる運転撮影
3 時限目	<ul style="list-style-type: none">○座学<ul style="list-style-type: none">・OD式安全性テスト結果に基づく自己分析とカウンセリング・ドラレコ映像、路上運転チェックシートを基に自身の運転確認と分析○まとめ<ul style="list-style-type: none">・OD式安全性テスト結果と運転の自己分析結果による今後の運転について○修了式



角田自動車学校の企業安全運転講習

5時間コース

1 時限目	<ul style="list-style-type: none">○オリエンテーション○O D式安全性テスト
2 時限目	<ul style="list-style-type: none">○運転技能<ul style="list-style-type: none">・教習車両による場内運転（基本運転練習）・指導員の運転を模倣し客観的自己分析・助言、指導がない環境で採点チェックシートによる採点と指導○座学<ul style="list-style-type: none">・O D式安全性テスト結果に基づく自己分析とカウンセリング・受講者の起こす可能性の高い事故パターンや交通場面での危険パターンを具体的に指導
3 時限目	<ul style="list-style-type: none">○危険予測ディスカッション<ul style="list-style-type: none">・危険予測シート（写真やイラスト）を活用した事故パターンや事故多発地点等の分析、又はシミュレーターを活用した危険予測で危険の早期発見力を高める
昼休憩	
4 時限目	<ul style="list-style-type: none">○運転技能<ul style="list-style-type: none">・教習車両による路上運転・路上運転チェックシートによる採点・ドライブレコーダーによる運転撮影
5 時限目	<ul style="list-style-type: none">○座学<ul style="list-style-type: none">・O D式安全性テスト結果に基づく自己分析とカウンセリング・ドラレコ映像、路上運転チェックシートを基に自身の運転確認と分析○D V D映像教養○まとめ<ul style="list-style-type: none">・O D式安全性テスト結果と運転の自己分析結果による今後の運転について○修了式



角田自動車学校の企業安全運転講習

新入社員等若手社員や現社員を対象とした
「安全運転講習会」

安全運転管理者

- 新入社員個々の性格や運転適性の把握及びアドバイス
- 安管としての社会的役割

OD式安全性テスト
座学
安全意識の向上

受講者

- 自分の性格や運転適性の把握
- 今後の安全運転に対する意識改善と業務中や業務外、通勤等の運転に対する責任感

安全運転管理者

- 意識的・能動的な学習やトレーニング等を通してテクニックを向上させたい

運転技能の向上

受講者

- 安全に運転しようとする気持ちや心構えだけで安全運転は実践できないことの体験

事業所に係る交通事故防止と交通安全の実現

安全運転に関する知識や技術、場所の提供



角田自動車学校の企業安全運転講習

運転技術は同じでも、運転のしかたは人によって違います。運転者個人の性格やくせが運転に大きな影響を与えるからです。この性格やくせを知るには、他の人に運転を見てもらうのもひとつ的方法ですが、運転適性検査を受ければ、運転に関係が深い動作・行動や性格について、より正確に知ることができます。

～OD式安全性テスト～

正確でスムーズな運転操作に必要な「運動機能」、交通社会の一員として必要な「健康度・成熟度」「性格特性」「運転マナー」の4つの要素が、どの程度備わっているかを16の特性から評価するとともに、安全運転に関する適性を総合的に診断します。

検査結果は、「運転適性度」と「安全運転度」の総合評価から4つの運転タイプに分類され、受検者それぞれにあった効果的な運転方法がアドバイスされます。

また、安全運転管理者用の診断書がありますので、管理者側からのアドバイスに適しています。





角田自動車学校の企業安全運転講習

1 企業における安全運転管理

- ①交通事故の脅威から企業を守る
- ②社員の能力、気質を知る
- ③マイカー事故の防止を図る

2 交通事故に対する意識

- ①交通事故発生のリスク認識を変える
- ②交通事故原因に対する認識を変える

3 安全運転教育

- ①基礎技能の確認
- ②科学的知識の習得

4 企業における安全運転管理

- ①車両等の使用者の義務
- ②安全運転管理者の責務

角田自動車学校の
企業安全運転講習



社員の
事故防止

企業の
交通事故防止

地域の
安心安全な
交通社会の実現



角田自動車学校の企業安全運転講習

運転技術の向上